

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3871200154		
法人名	有限会社ウイズ・ケイ		
事業所名	グループホームあんど		
所在地	西条市桑村4 5 6 番地 (電話) 0898-76-5511		
管理者	楠橋 昌美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月29日	評価確定日	平成20年9月29日

【情報提供票より】 (平成20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	8人, 非常勤 5人, 常勤換算 11.3人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年7月1日現在)			
利用者人数	15 名	男性 0 名	女性 15 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	4 名	要介護4	5 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 89 歳	最低 75 歳	最高 95 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>縫い物をされる利用者が多く、利用者が暖簾を手作りされたり、雑巾を縫う等、生活に必要なものを作っておられる。お習字の作品が展示されている。畑の水遣り、犬と遊ぶ等それぞれが楽しんでいる。事業所のバーベキュー大会で長寿太鼓を発表されるために、各ユニットごとに曲を決めて練習をされている。</p> <p>新鮮な魚や畑で採れた野菜を使って、食事を作っておられる。食後には、職員が利用者個々に飲み物の好みを聞き、好みに合わせてコーヒーや紅茶等を飲みながら、ゆっくり過ごせるよう取り組まれていた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の外部評価結果は、家族会で報告された。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、運営推進会議の内容の充実や地域とのかかわりを拡げていけるよう取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、職員が取り組み、管理者・運営者でまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議では、事業所の近況報告を行っておられる。又、外部講師を招き、出席者とともに認知症についての理解を深めておられる。その際には地域の方も聴けるよう案内された。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・3ヶ月ごとに家族会を開催し、事業所の取り組みについて、質問に答えるようにされている。又、ご家族から「利用者と一緒に趣味の会をしよう」との提案をいただいている。家族会に参加できなかったご家族にも、話し合った内容が分かるようにされている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域の文化祭には、ユニット名にちなんだ貼り絵を出品された。地域の方から「ほのぼのとした作品」であると感想をいただいた。地域の中学校へ管理者、施設長、職員が介護についての講話に行かれたり、運動会には、利用者とともにお弁当とポンポンを作って応援に行かれた。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあんど

(ユニット名) わらべ村

記入者(管理者)

氏名 楠橋昌美

評価完了日

平成 20年 7月 1日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「共耕共遊の里」を理念にしており、地域の人達と共に生活を築きたいと努力している。		
			(外部評価)		
			事業所の名前「あんど」は、「安堵」「&」「安らぎの地」という意味を込めて付けられた。事業所では、理念に基づき「地域とともに生きがいのある人生と一緒に過ごす」ことを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を常に意識して日常生活の中で実践できるようミーティングや申し送り時に話し合っている。また、日々努力している。		
			(外部評価)		
			運営者、管理者、職員は、「理念を生活の土台」として、朝のミーティング時等、確認し合い共有に努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			公園の掲示板には理念を掲示しており、近所の方にも見て頂いているが、十分な理解を得ているとは言えない。家族や運営推進会議メンバーには、理念について説明している。		
					運営推進会議メンバーに広めてもらい、会議への参加を呼びかけてもらう。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 作った野菜や花を持ってきて下さる方や、お孫さんを連れて公園を利用される方はいらっしゃるが、まだ隣近所の方とは挨拶どまりで気軽に立ち寄ってもらえるような関係にはなっていない。		もっとあんど公園を利用してもらえるよう声を掛けていく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 文化祭開催時に、公民館にて入居者の作品を展示させてもらい、あたたかい評価を得ている。又、中学校の「地域に働く人々」や「介護について」の講演では、協力させてもらっている。が、地域の人々と交流する機会はまだ少ない。		運動会や文化祭など、地域の行事に積極的に参加していく。又、地域の方にレクリエーション(押し花など)教えてもらえるようお願いしてみる。
			(外部評価) 地域の文化祭には、ユニット名にちなんだ貼り絵を出品された。地域の方から「ほのぼのとした作品」であると感想をいただいた。地域の中学校へ管理者、施設長、職員が介護についての講話に行かれたり、運動会には、利用者とともにお弁当とポンポンを作って応援に行かれた。		今後、事業所では、地域の方達にさらに事業所のことを知っていただき、気軽に立ち寄ってもらえるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。又、地域の方に押し花等を教えてもらうことを予定されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にて、認知症高齢者についての相談があり、それにはアドバイスをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果については、職員達と話し合い、改善できるよう努力している。自己評価は、代表者、管理者、職員で取り組んでいる。		
			(外部評価) 自己評価は、職員が取り組み、管理者・運営者でまとめられた。前回の外部評価結果は、家族会で報告された。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、運営推進会議の内容の充実や、地域とのかかわりを拡げていけるよう取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、自己評価の内容や外部評価の結果 を報告し、いろいろな意見をもらっている。元民生委 員のメンバーに成年後見制度の勉強会をしてもらっ た。		
			(外部評価)		
			会議では、事業所の近況報告を行っておられる。又、 外部講師を招き、出席者とともに認知症についての理 解を深めておられる。その際には地域の方も聴けるよ う案内された。		さらに、事業所では今後、ご家族も出席できるような 日程や時間等も検討し、ご家族にも意見をうかがいた いと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			分からない事は、市役所に行き直接担当者からアドバ イスをもらっている。又、月に1回介護相談員が来居 し、いろいろな意見を頂いており、質の向上に努めて いる。		
			(外部評価)		
			市の担当者や介護相談員へも、事業所の行事に来てい ただけるよう案内されている。介護相談員は、一緒に 折り紙をしたり、パンを買って食べたりしながら、利 用者のお話に耳を傾けてくださっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			家族会では、運営推進会議メンバーの元民生委員の方 に、成年後見制度についての講義をしてもらい、話し 合いをしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待については、ミーティング等で話し合い、もう一 度自分達のケアサービスについて見つめ直している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書や重要事項説明書については、丁寧に説明を行い理解、納得を図り、同意をもらっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月に一回来られ、入居者の相談にのってくださっている。又、日々のコミュニケーションや入浴時などの言動から思いを察するようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ご家族の来訪時に、日頃の様子や状態を伝えている。又、月に一回暮らしぶりや、健康状態、連絡事項を文書にてお伝えしている。たよりでも日々の生活が分かるようにしている。 (外部評価) 2ヶ月毎に発行されている「あんど便り」では、行事時の写真を多く載せ、様子を伝えておられる。家族会時の要望もあり、月1回、手書きで手紙を書き、ご本人の生活の様子を伝えておられる。ご本人の心情を伝え、ご家族に協力していただけるようになったような事例もある。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会にて、意見、不満、苦情を出して頂いている。家族同士の関係も深まっており、いろいろな意見が出ている。又、出された意見等については、ミーティングで職員と話し合い改善する努力をしている。 (外部評価) 3ヶ月ごとに家族会を開催し、事業所の取り組みについて、質問に答えるようにされている。又、ご家族から「利用者と一緒に趣味の会をしよう」との提案をいただいている。家族会に参加できなかったご家族にも、話し合った内容が分かるようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者、管理者も介護に入っており、ミーティング以外でもいろいろな場面で職員の意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に応じた対応ができるようにしている。(急変時や、不穏な方がいるときは、夜間2～3名にて対応している。)		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 各ユニットそれぞれ決まった職員の配置にし、顔なじみの職員が対応している。管理者は両ユニットの介護に入っており、全入居者と馴染みの関係になっている。又、新しい職員が入った場合は信頼関係が築けるまでは、馴染みの職員と二人体制にて対応している。 (外部評価) ユニット間での異動はなく、利用者や職員は馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 短大教授(スーパーバイザー)の勉強会を年2回実施しており、全職員が参加している。が、事業所以外の研修には、一部の職員しか参加できていない。資格取得には全面的に協力している。 (外部評価) 年2回、スーパーバイザーを迎えて、内部の勉強会を行っておられる。外部研修は、職員の段階に応じて事業所側から促しておられる。		一年の研修計画を立て、希望者には参加できるよう勤務体制を整えていく。 今後、研修の年間計画を立て、職員全員が年1回は外部研修に参加できるよう、すすめていきたいと考えておられる。さらなる職員のレベルアップから、貴事業所のさらなるケアの質向上を目指していけるよう、取り組まれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	(自己評価)		
			認知症実務者研修に参加し、他のグループホーム職員 と交流できた職員もいるが、まだまだ地域の同業者と の交流は少ない。		グループホーム連絡協議会の研修やサービス向上委員 会への参加を促し、職員間の交流が持てるようにす る。
			(外部評価)		
			職員は、認知症実務者研修に参加し、他のグルー プホームの職員と一緒に学ばれた。		さらに、地域の他事業所との交流やネットワーク作り 等、いろいろな意見交換や、協力し合えるような体制 作りをすすめられてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	(自己評価)		
			定期的に運営者、管理者、職員での交流会を行って いる。勤務に関しても本人の希望を取り入れ、ストレス のかからないようにしている。又、管理者は常に職員 の様子を観、話を聞くようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り 組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心 を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			就業規則をきちんと作成しており、職員の労働条件を 整えている。又、事業所は資格の取得には協力をして おり、その資格に応じた手当も支給している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っ ていること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受 けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面談を行い、ご家族や本人の状況をよく聴き、把 握するよう努めている。又、日中、夜間とも何日か体 験して頂き本人、家族が安心して入居できるように している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学時から入居に至るまでに、困っている事や不安な事、希望等の話を聴き、受けとめるように努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時には、家族や本人の思い、状況などを考慮し助言や対応をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学・面談から始まり、日中遊びにきてもらったり何日か体験してもらい、本人が安心して入居できるようにしている。又、ご家族とも十分話し合っている。 (外部評価) 職員や他の利用者とも馴染んでいただけるよう、入居前に事業所に遊びに来ていただき、宿泊の体験や一緒に過ごしていただけるようすすめておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護する側、される側ではなく共に支え合い、共働しながら役割のある生活を一緒に送っている。又、いろいろな場面で教えてもらう事(料理や地方の習慣など)が多くある。 (外部評価) 職員は、本にはないような昔の歌や戦争の経験・習わしについて教えてもらったり、料理の作り方や味付けを教わることも多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所された時に情報を交換し話し合っている。又、来られないご家族には、状況を文書で送ったり、電話にて伝えている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の思いを家族に伝えたり、外出や外泊を勧め、家族との関わりももてるようにしている。又、行事には家族を誘い、一緒に過ごす時間を作っている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 中には、昔からの友人と電話や手紙のやり取りをされている方がいるが、殆どの方が途切れてしまっている。		本人の思い、希望を家族に伝え、協力を得る。又、家族から本人を支えてきた取り巻く人間関係について話を聞き、手紙、電話で連絡が取れるようにする。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 理解力低下の方がおられ、他の方と良い関係が築けているとは言えない。		職員が間に入り、他の入居者と交流(いろいろなレクリエーション、会話など)ができるようにし、利用者同士の関係が円滑になるようにしていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 行事等の案内はしているが、参加はしてもらえていない。		年賀状、暑中見舞いや、行事の案内を出していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の行動や表情、コミュニケーションから本人の思いや希望を把握するよう努めている。又、職員達で話し合い、本人の思いを家族に伝えている。		
			(外部評価)		
			利用者の日頃の行動や言葉等から、思いや意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族からの情報や本人との会話の中から、ある程度は把握できているが、細かい情報は得ていない。		来られた時に、少しずつ話を聞いていく。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員は一人ひとりの生活リズム、本人のできる事、できない事、分かる事、分からない事は把握している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			日々の関わりの中で本人の希望や思いを知るよう努め、本人と話し合い、職員と意見交換をしている。又、家族の希望や意見、医師のアドバイスも聞きプランを立てている。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時、意見を聞き取っておられる。又、遠方にお住まいのご家族には、お手紙等でも計画に対して希望を出していただけるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			プランの見直しは3ヶ月に一回だが、状況や状態の変化に応じて、その都度、カンファレンスをし現状に即したプランを作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと、状態変化時には、その都度見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の記録には、入居者の様子、言葉、対応を詳しく書くようにしている。食事、水分量、排泄、バイタルチェックも記録しており、勤務開始前には確認している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、受診、病院への送迎など医療支援は行っている。(その都度、本人、家族と話し合い臨機応変に対応している。)		
			(外部評価)		
			ご家族の要望を受けて、選挙に行かれる利用者の方に付き添われたこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議メンバーに民生委員が数名おられ、意見交換はしている。又、文化祭時には公民館に入居者の作品を展示させてもらった。派出所、公民館へのたよりの配布は行っている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) できていない。		家族や本人の意向を聞く。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) できていない。		家族や本人の意向を聞き、必要な場合は協働していく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の往診が週に一回あるが、かかりつけ医への受診も本人やご家族の希望により行っている。又、受診結果はすぐに報告している。		
			(外部評価) 病院受診の際には、職員が同行し、医師に普段の様子を伝えておられる。ご家族が病院受診に付き添う場合は、事業所での様子の記録を医師に渡してもらうようにされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の専門医ではないが、日常の入居者の状態を把握している協力医に、指示や助言をもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 提携医療機関の看護師は、入居者の状態や持病、投薬等を把握しており、24時間いつでも相談、助言、対応をしてもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、本人の状況や特徴などを詳しく提供し頻繁に見舞うようにしている。又、家族、医療機関と情報交換し速やかな退院ができるよう話し合っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人、家族、かかりつけ医、事業所とその都度話し合っており、医師や看護師とも連携が取れている。又、全職員で対応方法を話し合い支援している。 (外部評価) 現在、最期まで事業所でお願いしたいと希望されるご家族もあり、職員は、飲み込み困難な方への支援や終末期の支援についても勉強されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の気持ちを尊重し、家族、本人と話し合い、安心して終末期を過ごせるよう取り組んでいる。対応が可能な事、困難な事を全職員で話し合い、家族、医療機関と連携し支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人の状態を詳しく情報提供しており、対応方法や工夫してきた点も伝達している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			常に人として尊重し、プライバシーを考慮した声掛け、対応を行っている。個人情報も保護し、秘密保持に努めている。(入社契約書に個人情報を守る項目がある。)		
			(外部評価)		
			職員は、共同生活の中でも「利用者一人ひとりの尊厳を守る」ことを心がけておられる。運営者、管理者は、利用者一人ひとりが「生きている感じを持ってほしい」と願い、声かけをされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			職員側で押しつけるようなことはせず、自分で選択できる場面を日々つくっている。(自分の意見を言えるような声掛けをしている。)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			基本的な一日の流れはあるが、その中で自由に生活されている。又、一人ひとりの体調や希望、ペースに合った支援ができるよう努力している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、昼食に使う野菜の下ごしらえをされている方やドリルをされている方、職員とおしゃべりを楽しまれている方の姿も見受けられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 基本的に洋服は本人が選び着られているが、見守り、声掛け、一部介助はしている。又、行事や外出時には、おしゃれや化粧をされ、楽しまれている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理の下ごしらえや盛りつけ、片づけ等を一緒に行い、職員も同じテーブルで楽しく食事をしている。時には、おにぎりを作りあんど公園で食べる事もある。 (外部評価) 利用者、職員がひとつのテーブルを囲み、和やかな食事風景であった。食後は、全員が終わるのを待って、後片付けを全員が協力し合って行っておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の飲みたいもの(お茶、コーヒー、紅茶、ジュースなど)を尋ね、選んでもらっている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で個人個人の排泄パターンを把握しており、その方に合ったトイレの声掛け、誘導を行いトイレ内にて排泄できるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価)		
			できるだけ本人の希望に添うよう(長湯、シャワー 浴、時間、入浴回数など)相談しながら入浴の支援を しているが、職員の配置上無理な場合もある。又、異 性の職員は信頼関係ができてから介助している。		できるだけ、本人の希望に添うように努力する。
			(外部評価)		
			入浴を嫌がられる方もおられるが、言葉かけを工夫さ れたり、タイミングを見ながら支援されている。仲の よい方同士でお風呂に入る方もあり、おしゃべりされ たり、歌を歌う方もいる。		現在は、職員の人数のこともあり、毎日お風呂に入り たいと希望があっても支援にむつかしさがあるよう だ。利用者のこれまでの習慣や希望を大切に支援でき るよう、話し合いや工夫を重ねていかれてほしい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一日のリズム(日中は活動、夜間は休息)は整えてい る。その中でも個人個人のリズムがあり、体調や表情 を観て声掛けしている。又、夜間、寝付けない人には 温かい飲み物を出し、ゆっくり話をして安心できるよ う配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	(自己評価)		
			生活の中で、その人に合った楽しんでできる場面(掃 除、野菜切り、洗濯物たたみ、縫い物など)づくりを 行っている。今は、8月のバーベキュー大会で披露す る長寿太鼓の練習を楽しまされている。		
			(外部評価)		
			縫い物をされる利用者が多く、利用者が暖簾を手作り されたり、雑巾を縫う等、生活に必要なものを作って おられる。お習字の作品が展示されている。畑の水遣 り、犬と遊ぶ等それぞれが楽しまれている。事業所の バーベキュー大会で長寿太鼓を発表されるために、各 ユニットごとに曲を決めて練習をされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価)		
			家族との話し合いにより、金銭は持たれていない。た だし、買い物に出かける時は、一人ひとり財布を持っ て支払いをしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<p>天気の良い日には、デッキにて犬と遊んだり、あんど公園にてお弁当やパンを食べたりされている。(移動のパンやさんからそれぞれ好きなパンを買われている。)ただ、遠出の外出は、本人にトイレの心配があったり、体力的に無理な方がいる。</p>		<p>トイレの近い場所を選んだり、ボランティアや家族に協力してもらい、安心して外出できるよう支援していく。</p>
			(外部評価)		
			<p>事業所の敷地内に、公園や運動場を作っておられ、戸外に出て散歩や気晴らしができるようになっている。バーベキュー大会は地域の短期大学の学生ボランティアにもお手伝いいただき、ご家族も楽しみな行事の一つとなっている。</p>		<p>事業所では外出の折には、ご家族も参加いただけるよう、働きかけていきたいと考えておられる。ご家族にも利用者や事業所とかかわりを増やしていただけたらと考えておられた。</p>
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<p>入居者とのコミュニケーションや表情から思いを引きだそうとしている。家族にも相談し協力を求めているが、まだまだ支援できていない。</p>		<p>家族に相談し、協力を求めている。</p>
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<p>電話をかけたい方には、居室に電話を設置し、かけてもらっている。又、かかってきた時も、居室内にてゆっくり話ができるようにしている。大切な方に、年賀状や暑中見舞いは出されている。</p>		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<p>訪問時間などは決めておらず、いつでも訪問できるようにしている。居室、廊下端のベンチ、ホール等で話をされたり、あんど公園で一緒に過ごされる場合もある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングやカンファレンス時に話し合っており、拘束をしない介護を目指し頑張っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけず、出入りが自由にできるようにしているが、職員は必ず見守りをしている。デッキにも自由に出ることができ、歩行練習される方もいる。(必ず職員も一緒に) (外部評価) 日中、玄関に鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。出入りの際は、チャイムが鳴っている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 台所も対面式であり、記録等もホールにて書き、常に入居者を見守り、声掛けしている。夜間は1～2時間おきに訪室、状態を観察し対応している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤、刃物、薬などは保管場所を決めてある。裁縫道具、ハサミなどは必要な時使用できるよう支援している。(必ず職員が見守りながら)		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリ・ハットの記録を行い、ミーティングやカンファレンス時に話し合い事故防止に努めている。救急法や消防訓練には全職員が参加している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年一回消防署の協力を得て、全職員が救急法の研修を実施している。夜勤時の緊急時対応についても、マニュアルを作成している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、消防訓練を年一回実施しており、施設内でも避難訓練をしている。運営推進会議で協力を呼びかけているが、まだ近隣の方々の協力を得られる体制はできていない。 (外部評価) 災害対策マニュアルを作成され、利用者、職員で避難訓練を実施されている。車イスの方の避難方法や夜間時の避難等、課題を明らかにされていた。		地域の消防団にお願いはしている。 運営推進会議でも、もう一度協力をお願いする。 さらに、いざという時に地域の方達と協力し合えるような関係や体制作りを、すすめていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 個々の状態に合わせて、リスクについてご家族に説明しており対応方法も話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状態は把握しており、様子の変化を見落とさないようにしている。(顔色、食欲、尿の状態など)又、状態によっては、速やかに協力医に連絡、対応をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別処方薬表を作成、個人記録にも薬の説明書を綴じておりいつでも把握できるようにしている。又、服薬時は、本人に手渡し、服薬した事を必ず確認している。副作用がないか常に観察している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便状態は把握しており、個人の状態に合わせた運動を促したり、食物繊維の多い食材や乳製品を取り入れたり、起床してすぐ冷たい飲み物を飲んでもらったりしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛け、誘導を行っており個々の状態に合わせ見守り、介助を行っている。就寝時には、義歯をポリドントにて洗浄している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分摂取量をチェック表に記録しており、全職員把握している。状態によって、食事形態、調理法、量は工夫しておりバランスも考えている。 (外部評価) 新鮮な魚や畑で採れた野菜を使って、食事を作っておられる。食後には、職員が利用者個々に飲み物の好みを聞き、好みに合わせてコーヒーや紅茶等を飲みながら、ゆっくり過ごせるよう取り組まれていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症についてのマニュアルを作成しており、勉強会もしている。職員、入居者ともインフルエンザ予防接種を受けており、予防、対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組み たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、ふきん等は毎晩漂白、殺菌をしている。食材もチェックし、冷凍したり処分したりしている。又、調理前は職員、入居者とも必ず手洗い、消毒を励行している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関入ってすぐに入居者の作品物や、季節に合った置物を飾ってあたたかい雰囲気を出している。又、玄関に椅子を置いてあり、来訪者が荷物を置いたり、座って靴の着脱ができるようにしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 常に生活の音、臭いはしている。夏場はすだれを設置し、快適に過ごせるようにしている。又、居室の暖簾も季節に合った物にし、壁面にも季節感のある飾り付けを入居者とともに行っている。 (外部評価) ウッドデッキは両ユニットから出入りできるようになっており、歩行訓練をされている方もいる。調査訪問時は、冷房で冷えすぎてないか、利用者に聞きながら調節をされていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 畳スペースや廊下端の畳ベンチにて、入居者同士で話をしたり横になったりして過ごされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 たい又	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	(自己評価)			
				テレビや使い慣れたタンスを持ち込まれ、自分の使い やすいように配置されている方もいるが、殆どの方 は、使い慣れた家具等、持ち込みは少ない。しかし、 何年も入居されている方にとっては、現在暮らされて いる居室内の物が馴染みの物となっている。		
			(外部評価)			
		各居室には洗面台があり、調査訪問時には、個々が自 室で食後の歯磨きをされていた。タンス、ラジカセ、 椅子、手作りの手芸品等もあった。				
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)			
			一日に何度か換気をし、職員は常に室温と湿度には注 意している。又、入居者の様子を観、尋ねたりして調 節している。			
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)			
				個々の状態に合わせて、杖、シルバーカー、歩行器、 車椅子を使用しており、できるだけ安全に活動性を維 持できるようにしている。又、居室内にポータブルト イレを置き夜間に安全に排泄できるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)			
				できないシート、分かる分からないシートを作 成しており、職員は個々の状態を把握している。又、 状態の変化をよく観察し工夫している。(個人個人居 室の暖簾を変えたり、椅子に名前を貼ったり)		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
				車椅子の方もデッキやあんど公園にて、外の空気や景 色を楽しまれている。季節感の分かる花も植えてお り、水やりもされている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	表情や会話の中から思いを汲み取っているが、すべてその思いや願いを叶えてあげる事はできない。努力はしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日によって時間は異なるが、同じテーブルに座って話しをする場面は毎日ある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活の為、制限される部分もあるが、その中で自分なりに自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	役割があり生き生きとされている方もいらっしゃるが、認知力、理解力の低下によって表情が乏しくなっている方も見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	隣のアンド公園には日々出かけているが、遠出はなかなか難しい面がある。希望がある場合は家族にも協力を得ていく。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	皆さん穏やかな、安心した表情で暮らされているが、加齢とともに健康面に不安が出てきた。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	穏やかな表情はされているが、時々険しい表情の時がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② ほぼ全ての家族と2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	月に一度、文書にて状態を説明しており、面会時にも説明している。その際、家族からの要望、意見も聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ ほぼ毎日のように2/3くらい 3 たまに 4 ほとんどない	昔暮らしていた近所の方が訪ねて来られたり、手紙、電話のやり取りをされる方はいる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議にて認知症の勉強会を行う事により、「自治会での介護相談に役立っている」との意見があった。又、公民館にて作品を展示してもらったり、理解者が少しずつ増えてきている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく楽しそうに働いており、笑い声がよく聞こえている。又、困った事などは皆なで話し合い、解決している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	穏やかな表情をされているが、時折、不服そうな表情をされる時がある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	入居者の生き生きしている姿、楽しそうな表情を見て、安心されている家族がいるが、面会の少ない家族の思いは分からない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・一人の人間として接し、喜怒哀楽の表現ができるよう、又、普通の生活ができるよう支援をしています。
 ・本人のできる事を把握し、いろいろな事にチャレンジしてもらっています。
 (今は、8月のパーベキュー大会に向け、あんど長寿太鼓の練習を楽しんでされています。)
 ・あんど公園にて、お弁当やおやつを食べ、楽しい時間を過ごしています。
 これからは、もっと地域の方々に公園を利用して頂き、楽しい時間を共に過ごしたいと思っています。